

暑中お見舞い 申し上げます



皆様におかれましては、お元気で過ごすごしのこととお喜び申し上げます。

さて、今年6月下旬から九州南部に降り続いた大雨により各地で災害が発生いたしました。本町におきましては、幸いにも人的被害は発生しませんでした。が、広い範囲で土砂災害が発生し、菱田川が一時氾濫危険水位を越え危険な状態になりました。こうした自然災害に対する『自助』の重要性を認識していただくため、本年も、志布志湾沿岸部を対象に津波避難訓練を7月13日に実施いたしました。当日は悪天候にも関わらず、700人以上の方にご参加いただき、避難経路の確認や救助活動訓練等を通じて防災意識の高揚が図られたのではないかと感じております。

また、安心・安全なづくりという観点から、いくつかご紹介させていただきますと、『大崎町消防団菱田分団詰所』が、旧菱田中学校跡地に開所いたしました。

た。女性消防団の研修室や備蓄倉庫機能を兼ね備えており、地域消防活動の拠点として期待されるところでございます。

次に、近年全国各地で子どもたちが被害者となる事件や事故が多発していることから、この防止策の一つとして『大崎町子ども見守り協議会』が発足し、関係機関が連携した見守りパトロールを実施していただいております。この他にも、志布志警察署と『事件・事故等に係るドライブレコーダーの映像提供に関する協定』を結ぶなど、安心・安全な町づくりに向けて取り組んでいるところでです。

さて、今年4月で『平成』の時代が幕を閉じ、5月から『令和』の時代が始まりました。新しい時代の幕開けの年に、本町においても、新しい時代の波が押し寄せております。

まず、旧有明高校跡地に『ジャパニアスリートレーニングセンター大隅』が、陸上競技トレーニング

に特化した日本初のスポーツ合宿拠点施設として4月1日にオープンいたしました。国際的には、横浜市で開催された世界リレーで世界一に輝いた「トリニダード・トバゴ共和国」や、「台湾」のナショナルチームが合宿に訪れ、また国内では実業団・大学の合宿に加えて、大隅地区高体連や曾於地区中体連の陸上競技大会が開催されるなど、国内外から注目を集める施設となりつつあります。

次に、国体正式競技のビーチバレーボールが来年本町で開催されますが、そのリハーサル大会として「九州ビーチバレーボールジュニア選手権」が7月に本町の専用競技場で開催され、また9月には小学生を対象とした「九州ブロック親善ドッジボール大会」が国体リハーサル大会として町総合体育館で開催される予定です。

最後に、日頃から皆様にご協力を頂きながら取り組んでいる成果として、今年

も「資源リサイクル率日本一」の称号を賜り、12年連続での受賞となりました。これらの実績が評価され昨年末に第2回ジャパンSDGsアワード 副本部長賞を受賞しました。また7月には「令和元年度SDGs未来都市（全国で31都市）」に選定され、更に全国で10都市のみとなるモデル事業にも選定されました。今後大崎システムを起点とした「世界の人口一万人地域で応用可能な循環型地域経営モデル」の確立に向けて努力してまいります。

さて今年も、連日厳しい暑さが続いております。部屋の中に居ても熱中症が心配されるなど、心身に不調をきたす例も少なくありません。どうかお体には気を付けて健やかな日々をお過ごしください。暑中のごあいさつ申し上げます。

令和元年 盛夏

大崎町長 東 靖弘
他 職員一同